MUSE TOKOROZAWA
所沢市民文化センター ミューズ
2024年5月15日号（年6回 1･3･5･7･9･11月号発行）発行元 公益財団法人所沢市文化振興事業団
〒359-0042 埼玉県所沢市並木1-9-1 TEL.04-2998-6500

Info Mart
インフォ・マート

（自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ）04-2998-7777 | https://www.muse-tokorozawa.or.jp
vol.131

ブルース・リウ［ピアノ］
アラン・アルティノグル［指揮］
▸▸P1

能「葵上」
―美しき 源氏物語の世界
▸▸P3

カルミーニョ
《ファド》
―ポルトガルの魂を歌う
▸▸P5

大和証券グループ Presents

Frankfurt Radio Symphony

フランクフルト放送交響楽団

ドイツ随一の伝統と実力を誇る名門

ショパン・コンクールで衝撃的な優勝を果たし、世界を席巻するブルースが再び所沢ミューズに登場！ 名門フランクフルト放送響との共演で壮麗な《皇帝》を響かせてくれるだろう。名匠アルティノグルの色彩感が冴えわたる《展覧会の絵》にも大注目！

大和証券グループ Presents

フランクフルト放送交響楽団
アラン・アルティノグル［指揮］
ブルース・リウ［ピアノ］

2024年10月19日(土)
13:15開場 14:00開演
アークホール

好評発売中

〈曲目〉
ワーグナー：
楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》
第1幕への前奏曲

ベートーヴェン：
ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 Op.73《皇帝》

ムソルグスキー(ラヴェル編曲)：
組曲《展覧会の絵》

〈料金〉

全席指定	S席：16,700円	A席：14,300円
	B席：12,800円	P席：11,400円
メンバーズ特割	S席：14,000円	A席：12,300円
	B席：11,200円	P席：10,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。

ウィーン、ベルリン、バイロイトで 絶賛の嵐を巻き起こす巨匠

アラン・アルティノグル

Alain Altinoglu, Music Director ［指揮］

©Ben Knabe

ドイツ随一の名門オケを率いるフランス生まれの名匠

ドイツでは、バイエルン放送響、北ドイツ放送響、ケルン放送響など各地方の放送局が世界水準の優れたオーケストラを有しているが、その中でも最も長い歴史を誇る名門中の名門が、ラジオ放送黎明期である1929年に創設されたフランクフルト放送交響楽団である。

創設時から、ドイツ随一の一流オケとして高い評価を得ていたが第2次世界大戦の混乱期を経て、この楽団の名が一気に世界に知れ渡ったのは、CDの時代にエリアフ・インバルとリリースした《マーラー交響曲全集》《ブルックナー交響曲全集》によってであろう。ドイツらしい深い音色と複雑なスコアをものともしない各セクションの機能美、そしてインバルの統率によって生み出される強靭かつ多彩な響きは全世界を魅了した。その優れた伝統は、パーヴォ・ヤルヴィ、オロスコ＝エストラーダといった名匠によって受け継がれ、2021年からその栄光のバトンを託されたのが音楽監督のアルティノグルである。コロナの影響が残る中での音楽監督着任であったが、アルティノグルの精緻で色彩的な音楽はすぐに現地の聴衆を魅了し、2024年ついにこの名コンビによる来日が初めて実現する。

天才的なタクトで名演奏を連発《展覧会の絵》の色彩

ウィーン・フィル、ベルリン・フィルでも絶賛を浴び、いまをときめくアルティノグルはアルメニアの血をひくフランス人。コンセルトヘボウ管、ロンドン響、ドレスデン国立歌劇場管などあらゆる名門オケの指揮台に招かれているが、活躍はそれだけではない。オペラの分野でも、2016年からヨーロッパ随一の名門「王立モネ劇場」の音楽監督に着任すると、劇場は優れた手腕と音楽性を評価し、その任期をなんと2031年まで延長したのだ。もちろん、世界の歌劇場もこの才能を放ってはおかない。メトロポリタン歌劇場、ロイヤル・オペラ、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場にも次々客演し、その評価はいや増すばかりだ。2015年には、ドイツ音楽の本流でワーグナーの聖地バイロイト音楽祭にもデビューを果たし《ローエングリン》で高い評価を得た。そう、アルティノグルの最大の魅力は、ドイツ人をも唸らせる底光りするような深遠な響きと、フランス人らしい洒脱な色彩感を自在にあやつる点にあると言えるかもしれない。ブルースをソリストに迎えたベートーヴェンの《皇帝》では、揺るぎのないドイツの深い音楽が、ラヴェルが魔法を散りばめたムスルグスキーの《展覧会の絵》では、めくるめくような色彩がアークホールに響きわたるだろう。

ショパン・コンクール完全優勝 驚嘆すべき感性とテクニック

ブルース・リウ

［ピアノ］ Bruce Liu, Piano

©Yanzhang

世紀の天才がミューズで披露した ショパンの名演奏！

ショパン・コンクールで衝撃的な完全優勝を成し遂げたブルース・リウが、2023年10月所沢ミューズに初登場。スイスの名門チューリッヒ・トーンハレ管と巨匠ヤルヴィとの共演で、代名詞ともいえるショパンのピアノ協奏曲第1番を披露した。まず驚かされるのは、ファツィオリのピアノから紡がれるビロードのように滑らかなフレージングと柔らかなタッチだ。流麗な響きの中に、世界を魅了した繊細を極める弱音がキラキラと燦めき、華麗なタッチが聴衆をショパンの世界へと一気に惹き込んでしまう。

ブルースが檜舞台へと踊り出た2021年以降、その活躍は「新ピアノの帝王」というにふさわしい充実度を示している。共演したオケは、ニューヨーク・フィルをはじめ、フィルハーモニア管、ウィーン響、フィラデルフィア管、モントリオール響など超一流オケばかり。ヤルヴィ、ネゼ＝セガン、ノセダ、シャニ、V・ペトレンコと現代を代表する名指揮者から次々と指名を受け、世界中で旋風を巻き起こしている。音楽誌やマスコミも「魔術師のような指と誠実な魂」（ル・モンド紙）、「エレガントで軽やかなタッチ」（ガーディアン紙）、「妖精（エルフ）のような技巧性」（ディアパゾン誌）と称賛を惜しまない。

ショパンだけじゃない！ ブルースの奥深い魅力！

ブルースの実力がまぎれもなく本物であることは、前述した活躍で見事に証明されたが、さらなる魅力はレパートリーの多様性にも表れている。2023年の日本ツアーでも取り上げたリストでは、ショパンの抒情とは異なる切れ味鋭いヴィルトゥオジティを披露。神がかり的なオクターブや俊敏なタッチに客席は興奮のるつぼと化した。コンクール後には世界最大のクラシック・レーベルの「ドイツ・グラモフォン」と契約を結んだが、録音したレパートリーも実に興味深い。デジタル配信したショパンのノクターンは当然の選曲だが、続くリリースはバッハのフランス組曲第5番で、これが「超」のつく名演奏。往年の名手リパッティの演奏を彷彿とさせるような清らかさと粒立ちの良さが聴き手の耳を捉えて離さない。昨年リリースのフル・アルバム『WAVES』は、何とフランスの鍵盤音楽史をたどる作品集。バロック時代のラモー、ロマン派のアルカン、印象派のラヴェルの多彩な小品が並ぶ。いずれも薫りたつような色彩感が秀逸だが、特筆すべきはラモーの組曲の数々だ。明晰なタッチや燦めくような繊細な装飾、何よりポリフォニーの鮮やかな描き分けは、かのグレン・グールドの鮮烈な演奏を想い起こさせるほど。ショパンもラモーもそうだが、作品にじっくりと向き合い作曲家の本質へと迫る努力を惜しまないブルースだけに、フランクフルト放送響とのベートーヴェンでも、きっと私たちに新鮮な驚きを与えてくれるだろう。

お薦め動画 YouTube

ブルース・リウ［ピアノ］
ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第2番［2017年］

アルティノグル指揮＆フランクフルト放送響
《展覧会の絵》［2022年］

美しき 源氏物語の世界

能 葵上(あおいのうえ)

ミューズの夏の風物詩《触れてみよう！能楽の世界》。今年は紫式部が手掛けた千年の時を超える名作『源氏物語』を題材にした「葵上」を上演いたします。稀代の美男子 光源氏と女性たちの恋模様を描いた日本最古の長編小説の雅やかな世界を、能楽師 遠藤喜久の名舞台でお楽しみください！

©青木信二

千年の時を超える名作『源氏物語』の世界

いまから1000年以上も前の平安中期に成立したとされる紫式部の『源氏物語』。日本最古の長編小説とされるこの物語には、リズミカルな美しい文体、登場人物の深い洞察、紫式部自身の溢れるような教養がちりばめられ、あらゆる時代の読者を魅了し続けてきました。紫式部が残した唯一の物語作品であると同時に、20年以上の長い年月をかけて書き綴られたと考えられる作品でもあります。

光り輝くような美貌と才能に恵まれ「光る君」と呼ばれた光源氏。その恋多き人生とその後を描いた全54帖からなる長大な小説であり、平安時代の教養で必須とされた和歌がなんと795首も詠まれているのが特徴です。物語のまだまだ序盤、22歳頃の若き光源氏を描いた第9帖「葵」を題材としているのが能の人気演目「葵上」です。

源氏物語を執筆する紫式部を描いた
土佐光起「紫式部図」(部分)
(江戸時代前期)

愛人と正妻の攻防 六条御息所(ろくじょうのみやすどころ)と葵上

若き光源氏の恋人の一人である六条御息所。元皇太子妃という高い身分にあった御息所は、愛人として光源氏の寵愛を一身に受けていましたが、源氏は自尊心が強い年上の御息所のことを次第に疎ましく感じるようになり、足が遠のいてしまいます。かつてのように源氏に愛されその愛情を独り占めしたいと願いながらも、源氏に対して素直になれない御息所…。嫉妬と恋慕の想いはついには怨念となり、源氏の子を身籠っている正妻の葵上に取り憑いてしまいます。怨霊となった御息所はわが身を恨みさめざめと泣き、感情をあらわにします。愛を失った御息所の想いは、時代を超えて今なお私たちの心を強く打ちます。

六条御息所の生霊を描いた
上村松園「焔」(部分)(1918年)

能の人気演目「葵上」

能『葵上』では意外なことに葵上は登場しません。舞台の正面には華やかで若々しい色柄の着物(装束)が置かれ、これにより病に苦しむ葵上が表現されます。この象徴的な演出は、派手な舞台装置を用いず、切り詰められた動きで感情を表現する能ならではの幽玄な演出。愛人と正妻、2人の女性を舞台で対峙させるのではなく、葵上を装束で象徴させることで、六条御息所の悲しみとやり場のない怒りが一層深く表現されるのです。

シテ(主演)は、ミューズで『土蜘蛛』『杜若』『船弁慶』といった名舞台を繰り広げてきた観世流の遠藤喜久。悲しみの中にも凛とした気品を感じさせる前半と、鬼女と化し恨みを爆発させる後半の鮮やかな対比が見所です。魅力的な出演者をずらりと揃えてお贈りする入魂の『葵上』。この夏、千年の時を超える『源氏物語』の魅力をミューズで再発見してください！

鬼女と化した六条御息所を演じる
遠藤喜久

関連企画❶ (約70分)

観て・聞いて・楽しむ 能楽プレ講座

2024年7月11日(木)
14:00開演
キューブホール

好評発売中

〈料金〉
全席指定 1,000円
メンバーズ特割 500円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。

関連企画❷ (各回40名／約45分)

特設能舞台にあがってみよう！

2024年8月23日(金)
1回目 14:00開始
2回目 15:30開始
マーキーホール

好評発売中

〈料金〉
全席指定 1,500円
メンバーズ特割 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。

触れてみよう！ 能楽の世界 能「葵上」 主演：遠藤喜久

2024年8月24日(土)
14:00開演
マーキーホール

好評発売中

〈料金〉
全席指定 3,800円
メンバーズ特割 3,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者の一部が変更になる場合がございます。

ポルトガルの至宝が待望の初来日！

カルミーニョ

――ポルトガルの魂を歌う

「運命」という名のポルトガルの民族歌謡《ファド》。
ポルトガルが誇るファドの最高峰の歌姫カルミーニョが
待望の初来日を果たす！
アラブやアフリカなど多様なルーツを持つファド、
その抒情と哀愁を体感いただこう。

2023年、スペイン・マドリードでのステージ
世界各地で多くのファンを魅了している

ポルトガルの魂を歌う《ファド》――魅惑の音楽世界

ファドは、ポルトガルの代表的な民族歌謡として19世紀に現在の首都リスボンで発展した。ブラジルやアラブ、アフリカの影響を受けて生まれた音楽で、ラテン語で〝運命〟という意味を持つ。悲しみや絶望を歌う暗いイメージが強く持たれるが、町の噂や祭りなど明るい要素を含んだ歌も多く存在し、悲しみから喜びまでありとあらゆる感情を力強く歌う。ファドで歌われる主要な感情表現に〝サウダーデ〟というものがある。これはポルトガル特有の概念で、大航海時代に長く会えない家族や友人を想う言葉で、郷愁や懐かしさといった感情をあらわす。ポルトガル人が愛するものを示す言葉として〝3つのF〟という表現がよく使われるが、サッカー（Futebol）、キリスト教の聖地ファティマ（Fátma）、そしてファド（Fado）の3つを指し、ファドはポルトガルの文化を語るうえで欠かせない要素であることがうかがえる。

〝ファド女王〟と称され、現在はバスコ・ダ・ガマらとともにポルトガルの国民的英雄10人のひとりとされているアマリア・ロドリゲスもファド界に欠かせない存在である。１９５６年制作のフランス映画「過去を待つ愛情」で挿入歌に起用された『暗いはしけ』で世界にファドの名を知らしめた。

ファド界の歌姫カルミーニョ――哀愁の歌声

カルミーニョは著名なファド歌手を母に持ち、音楽一家に生まれ育った。幼い頃からファドを歌い始め、10代の頃から彼女の歌声の技術と声量は周囲の注目を集めた。２００９年にリリースしたデビューアルバム『ファド』は、ファドの歴史の中で最も高く評価された作品のひとつとなり、プラチナアルバムとなったほか、Songlinesの２０１１年ベストアルバムに選出された。その後も数々のアルバムをリリース。ポルトガルのヒットチャートで1位を獲得したほか、多くの輝かしい賞を受賞するなど、カルミーニョは国際的なポルトガルのアーティストとして高い評価を得ており、その地位を確固たるものにしている。

２０２３年にはリスボンの世界青年デーでローマ法王のためにオリジナル曲『エストレーラ』を演奏するという栄誉に恵まれ、さらに映画「哀れなるものたち」に歌手として出演し、ポルトガルギターを弾きながら『O quarto』を披露した。この映画がヴェネチア国際映画祭で金獅子賞を受賞したことは記憶に新しいだろう。また、最新作『Portuguesa』を引っさげワールドツアーに挑戦。ロンドン、ニューヨーク、ベルリンをはじめとした世界各国の主要都市で演奏を繰り広げ、世界中のファンを大いに魅了した。

世界が注目するカルミーニョ――待望の初来日

ファドは歌い手のファディスタと、洋ナシ型で12の弦を持つポルトガルギターを演奏するギターラ、現地ではヴィオラと呼ばれるクラシックギターで構成される。ホールなどの大きな会場で演奏される際にはギターやベースが加わった編成も見られる。今回の公演ではカルミーニョの信頼する3人のミュージシャンと4人編成で演奏される。今回が初来日となるカルミーニョ。古典的なファドをはじめ、近年ではブラジリアンポップスにも活動の幅を広げる。同世代の中でもっとも才能があり、革新的なファド歌手と呼び声高いポルトガルの至宝による魅惑の演奏をぜひご体感いただきたい。

プラチナアルバムとなった
デビューアルバム「FADO」

1796年に描かれた
ポルトガルギター

最新アルバム「Portuguesa」

お薦め動画 YouTube

カルミーニョ
「エストレーラ」

カルミーニョ
「O quarto」

カルミーニョ［ファド］
～ポルトガルの魂を歌う

2024年10月20日（日）
14:15開場 15:00開演
キューブホール

好評発売中

〈料金〉

全席指定	3,800円
メンバーズ特割	3,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。

ステージレポート Stage Report

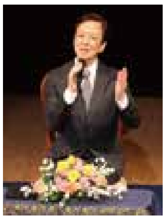
2月11日～4月13日

2024
2/11（日） 角野隼斗［ピアノ］全国ツアー2024 “KEYS”
〈アークホール〉
曲目／ J.S.バッハ：イタリア協奏曲 BWV971
モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第11番 イ長調 K.331《トルコ行進曲付き》
角野隼斗：24の調によるトルコ行進曲変奏曲
ガーシュウィン（角野隼斗編曲）：パリのアメリカ人
ラヴェル（角野隼斗編曲）：ボレロ　ほか

16（金） 第118回所沢寄席 春風亭一之輔 三遊亭萬橋　二人会
〈マーキーホール〉
出演／
春風亭一之輔
三遊亭萬橋
桧山うめ吉［俗曲］

17（土） ラファウ・ブレハッチ［ピアノ］
〈アークホール〉
曲目／
ショパン：ノクターン へ短調 Op.55-1
４つのマズルカ Op.6
ポロネーズ 第6番 変イ長調 Op.53《英雄》
ドビュッシー：《ベルガマスク組曲》
モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第11番
イ長調 K.331《トルコ行進曲付き》　ほか

19（月） 人間国宝　歌舞伎俳優 坂東玉三郎　お話と素踊り
〈アークホール〉
演目／トークコーナー、地唄舞「雪」



23（金・祝） 二兎社公演47『パートタイマー・秋子』
〈マーキーホール〉
演出／永井 愛
出演／沢口靖子、生瀬勝久 ほか

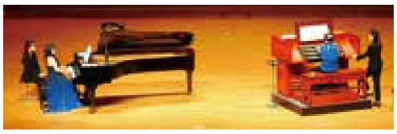
25（日） 金子三勇士［ピアノ］ピアノの魔術師リストから見たピアノの詩人ショパン
〈アークホール〉
曲目／
ショパン：革命のエチュード
夜想曲「遺作」
仔犬のワルツ
リスト：ラ・カンパネラ
愛の夢 第３番
メフィスト・ワルツ　ほか

27（火） 避難訓練コンサート N響メンバーによる珠玉の室内楽
〈マーキーホール〉
出演／梶川真歩［フルート］、大宮臨太郎［ヴァイオリン］、横溝耕一［ヴィオラ］、宮坂拡志［チェロ］
曲目／モーツァルト：フルート四重奏曲第1番 ニ長調K.285
オーボエ四重奏曲 へ長調 K.370
ランセ：弦楽三重奏曲

17（日） 二兎社公演47『パートタイマー・秋子』追加公演
〈マーキーホール〉
演出／永井 愛
出演／沢口靖子、生瀬勝久 ほか

3/23（土） 北村朋幹［ピアノ］リスト：《巡礼の年》全3年
〈マーキーホール〉
曲目／
リスト：《巡礼の年》全3年
プレトーク／高坂はる香

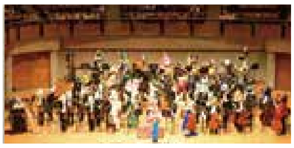
24（日） 三原麻里［オルガン］萩原麻未［ピアノ］光と陰のハーモニー ～印象派の扉を拓く～
〈アークホール〉
曲目／フランク：前奏曲、フーガと変奏曲 Op.18
サン＝サーンス：《動物の謝肉祭》より
「水族館」「白鳥」「フィナーレ」（オルガン&ピアノ）



30（土） 2023年度オルガンスクール修了記念コンサート
〈アークホール〉
講師演奏／三原麻里、原田真侑
出演／2023年度オルガンスクール修了生20名

4/6（土） マチェイ・スクシェチュコフスキ［チェンバロ］～オール・バッハ・プログラム～
〈キューブホール〉
曲目／
フランス風序曲 ロ短調 BWV831
フランス組曲第2番 ハ短調 BWV813
イギリス組曲第5番 ホ短調 BWV810
ほか

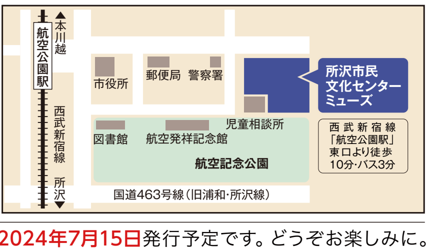
13（土） 2024ズーラシアンブラス・アニメ・カーニバル
〈アークホール〉
出演／ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団
曲目／ウルトラセブン～ウルトラ警備隊
キャッツアイ
鬼滅の刃より　ほか



写真撮影（市民カメラマン）／由井（2/16）佐藤（2/17、3/30）西山（2/19、3/23）三平（2/23、4/13）中村（2/25）津田（3/24、4/6）

チケットのお問合せは……ミューズチケットカウンター
04-2998-7777
●窓口・電話予約10：00～18：00 ※休館日を除く
●インターネット予約　所沢 ミューズ　検索

クラシック・ポピュラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております！
詳細はミューズホームページでご確認ください。
https://www.muse-tokorozawa.or.jp



※公演情報は2024年4月25日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなることもございますので、ご了承ください。

次回のインフォ・マートは2024年7月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。